



## 「子どもの力」

前橋市教育委員会事務局教育支援課  
幼児教育センター所長 松下 真由美

私は、小学校勤務の中で何度か1年生の担任を経験したことがあります。1年生の担任をするたびに、これから小学校、中学校と続く学校生活が始まる子どもたちを担任することへの責任を感じました。1年生を担任することが決まると、「1年生は、小学校のことは何も分からない。全部教えなければ、これからの小学校生活で困ることになる。」と思い、一つ一つの細かいことまで説明をして教えていました。その中で保幼小連携の担当となり、ある園を参観する機会がありました。先生や年長さんの動きを見て、一生懸命に真似しようとする年少さんがいました。どの子どもも真剣なまなざしで、先生や年長さんの動きを見ていました。年少さんは動きがうまくできなくても、諦めることなく挑戦していました。その年少さんを応援する先生や年長さんがいて、参観しながら心が温かくなりました。

他の園では、遊びの後片付けの様子を参観する機会がありました。自分で時計を見て片付けを始める姿、箒を上手に使ってごみを集める姿、数人で力を合わせて机を動かして椅子を並べる姿など、「年長さんなのに、すごい」と、どの姿も驚きでした。何もできないと思っていた1年生よりも小さな年長さんが、これほどいろいろなことができるとは思っていませんでした。

年長さんの姿を知った後に1年生の担任をしましたが、以前ほど「教えなければ」という思いはありませんでした。園で経験してきたであろうことが、1年生の生活の中にはたくさんありました。生活科のグループ名を決める時、意見が分かれてそれぞれの思いがありながらも自分達で決めることができました。

1年生を担任して、何事にも笑顔で挑戦し頑張ろうとする姿をたくさん見ました。漢字練習も足し算、引き算も楽しそうに取り組んでいました。体全部を使って歌う姿は、見ている私まで楽しくうれしい気持ちになりました。

これらのことは全て、幼児教育の中で培ってきたものだと幼児教育センターに勤務して理解することができました。幼児教育の中で、子どもたちは多くの経験を通して様々な力を身に付けています。先生や友達との会話や遊びの中で「どうしたらいいかな？」と考えること、体で感じる感覚など、本当に自分の周りの人、もの、こと、全てから楽しみながら学んでいることを知りました。

「お勉強って楽しいよね。」と言った1年生がいました。学ぶことが楽しいと思ってもらえることは、担任としてとてもうれしいことでした。きっと、その子は園で「楽しい」思いをたくさんしてきたのだらうと思います。



# 令和5年度 研修事業について



## 保幼小連携に関わる研修

保幼小研修会 6/8 (木) ☎	講義 「保幼小の連携について ～子どもの学びを繋げるために～」 講師 群馬大学共同教育学部附属教育実践センター 教授 安藤 哲也 先生
保幼小連携全体研修会 2/8 (木)	講義 「幼児期から児童期へ ～子どもの姿と力を繋ぐ～」 講師 幼児教育アドバイザー 都丸 千寿子 先生

## 保幼小連携地区ブロック研修会

9月～2月の期間に、市内18ブロックそれぞれの保幼小の先生方が集まり協議をします。  
今年度は保育・授業参観も可能とし、より滑らかな接続のために研修をいたします。

## こども教育研修会

第1回 5/18 (木) ☎	講義 「幼児期から育つ人との関わり ～幼児が学ぶ協同性～」 講師 幼児教育アドバイザー 塩崎 政江 先生
第2回 6/20 (火) ☎	講義 「気になる子どもの理解と支援『この子を理解するとは?』① ～“言葉の認識の違い”から考える～」 講師 D-discovery まつなみ 代表 松波 芳子 様
第3回 7/7 (金) ☎	講義 「幼児の体験を豊かにする環境の構成」 講師 玉川大学 教授 東一の江こども園 園長 田澤 里喜 先生
第4回 9/27 (水)	講義 「気になる子どもの理解と支援『この子を理解するとは?』② ～この子の“脳のスクリーン”で考える～」 講師 D-discovery まつなみ 代表 松波 芳子 様
第5回 10/18 (水)	講義 「幼児の主体的な遊びのための保育者の関わり」 講師 聖心女子大学 教授 河邊 貴子 先生
第6回 11/1 (水)	講義 「気になる子どもの理解と支援『この子を理解するとは?』③ ～穏やかな日常に繋がる“パタン化”から考える～」 講師 D-discovery まつなみ 代表 松波 芳子 様
第7回 12/8 (金)	講義 「保護者支援のあり方 ～保護者に寄り添い、共に子どもを育むために～」 講師 幼児教育アドバイザー 奥野 みどり 先生
第8回 1/11 (木)	講義 「非認知能力を育む ～日々の保育から考える～」 講師 幼児教育アドバイザー 大島 みずき 先生

※今後行われる「こども教育研修会」に参加希望がありましたら、幼児教育センターまでご連絡をください。

☎027-230-9089

### 【市立幼稚園保育研究会】

7月14日(金)に、前橋市立おおご幼稚園で市立幼稚園保育研究会が開催されました。3年ぶりに公開保育も行われ、様々な校園所の先生方に参加していただきました。午後の学年別協議では、おおご幼稚園が園内研修で取り組んでいる「保育ウェブ」の作成を体験しました。どの学年も、「幼児の姿」から「予想される幼児の姿」やそこに必要な「環境の構成」について、活発に意見を出し合い、楽しく有意義な研修会となりました。



他の園での様子や遊びの予想を聞くことができ、新しい遊びの引出しを増やすことができました。今後の環境の構成に活かしていきたいです。(アンケートから)



## R5年度 幼児教育アドバイザーの紹介



出前相談・出前研修・保幼小連携地区ブロック研修会・こども教育研修会などでお世話になっている、幼児教育アドバイザーの先生方のご紹介です。  
(五十音順 敬称略)

名前	所属・ご経歴等
荒瀬 優子	小学校長・幼稚園長・特別支援教育経験者
稲塚 由里	子育て経験者
井上 昭子	子育てネットワーク「ゆるいく」代表者
今井 寿美枝	チャイルドハウスゆうゆう施設長 レクリエーションコーディネーター
大島 みずき	群馬大学准教授
奥野 みどり	臨床発達心理士 群馬パース大学教授
坂口 淳子	育英短期大学准教授 幼稚園教頭経験者
塩崎 政江	市教育長・小学校長・幼稚園長経験者
関谷 祐貴子	発達障害児の理解啓発ボランティア 小学校通級指導経験者
田胡 敏子	高崎健康福祉大学教職支援センター教職指導主事 保育所長経験者
田中 輝幸	群馬医療福祉大学准教授 認定こども園園長
都丸 千寿子	群馬パース大学福祉専門学校副校長 小学校長・幼児教育・特別支援教育経験者
永井 広子	共愛学園前橋国際大学短期大学部教授 幼稚園長経験者
山口 裕子	言語聴覚士 特別支援教育・通級指導経験者
横坂 好枝	共愛学園前橋国際大学短期大学部教授 幼稚園長経験者

### 幼児教育アドバイザーによる「出前研修」・「出前相談」

★経験豊富な幼児教育アドバイザーが訪問します★

【出前研修】対象：幼稚園教諭・保育士・保育教諭 保護者  
内容：園・所内研修 保育参観 保幼小連携地区ブロック研修会での指導助言  
子育て井戸端会議 保護者会、入園説明会などで講話 など

【出前相談】対象：幼稚園教諭・保育士・保育教諭 保護者  
内容：保育参観・カンファレンス 個別相談 など

【手 順】 ※提出書類は幼児教育センターHP からダウンロードができます。

1.まずは、  
幼児教育センターに  
お電話ください。  
☎027-230-9089

2.日時・内容等を  
確認後、幼児教育  
アドバイザーと日  
程調整をします。

3.幼児教育アド  
バイザーと調整  
が取れたら園所  
に連絡します。

4.『出前研修・  
出前相談申込  
書』をご提出く  
ださい。

5. 事業終了後  
2週間以内に  
『出前研修・出前  
相談報告書』をご  
提出ください。



★今回は、幼児教育センターで言語聴覚士としてことばの教室を行っている猿渡和可子先生にお話を伺いました。

**Q: 「サ行」・「カ行」の発音が気になります。**

**A:** 幼児教育センターの「ことばの教室」は、年長さんが利用できる教室なので、5歳から6歳の子どもたちが見えます。相談内容については、「【サ行】が【タ行】になる」「【カ行】が【タ行】になる」が大半を占めています。

音を出す運動の動作のほとんどは口の中で行われています。動作としては、とてつもない速さと正確さを要求する細かい微妙な運動になります。特に【サ行】の発音は獲得しにくく、5～6歳半までに完成する難しい音です。【サ行】が出にくい方は舌が緊張していることが多く、舌を出すと棒状だったり波打っていたりします。リラックスさせる練習としては、舌を唇より少し前に出し「ホットケーキのようなふんわりした舌」を作ることから始めます。口の形の真似っこができるようになったら、自分が発した音との違いを聞き分ける力をつけていきます。日常の会話のなかでは「さかな」を「たかな」と言ったら、「さ・か・な」だね、と良い音で返してあげ、少しずつ良い音に近づけていけるとよいと思います。

【カ行】の音は50音の中でも、舌が奥の方にひかれ、他の音とは構音点が大きく異なってきます。まず、奥舌の形を作り舌先が上にあがらないようにしていきます。同時に、軟口蓋と奥舌が接触し呼吸を溜めるのですが、この力が弱いと音が作れません。これを鼻咽腔閉鎖機能と言います。この動きは、「うがい」をしたり「鼻をかんだり」する運動につながります。口の中の圧力を高める遊びは「ラッパや巻き笛を吹く」「コップに水を少し入れてブクブク練習をする」「シャボン玉を吹く」などがあります。気をつけることは、「そっとなが～く吹く」ことです。日常生活の中で楽しく遊びながら、口周辺の筋力や随意的に調整できる機能を高められると良いと思います。口形を真似したり、自分の音を聞いて修正したりする力は、ちょっとしたコツを覚えるとできるようになることが多いです。年中さん頃を目安に、発音が気になっていたら「様子を見る」ではなく、相談機関に相談してみてください。年中の12月以降には幼児教育センターでも相談ができますのでお問い合わせください。



## ～ありがとう 宮城幼稚園～ 「お別れ見学会」の開催

昭和50年に宮城村立宮城幼稚園として開園してから49年の間、園児、保護者、職員、地域の方々など、たくさんの方に愛され続けてきた宮城幼稚園が、令和6年3月31日をもって、閉園となります。

閉園を前に宮城幼稚園を見学していただけるよう、「お別れ見学会」を開催いたします。

今まで関わってくださった方や地域の方々など、どなたでも見学可能です。お誘いあわせのうえ、ぜひ多くの方に足をお運びいただければと思います。

**日時：令和5年11月4日（土）**

**9：30～16：00**

**場所：前橋市立宮城幼稚園**

